

若手技術者の育成について

松山河川国道事務所

石手川ダム管理支所 森長沙耶

1. はじめに

現場経験豊富な技術者が少なくなる中で、現場に出る経験の少ない若手技術者の技術力向上のための取り組み（若手技術者研修）について紹介します。



2. 1 若手技術者研修の内容

若手技術者研修では、ダム係員を出張所の河川管理、工事施工管理に各自の目標を持たせて、本年度の下半期より行っています。

(1) 研修内容と目標

工事関係：週1回程度の工程会に参加、段階確認や材料確認等の現場立会に参加、地元説明等の対外交渉に参加し、実際の工事に関わる内容を体験することで施工手順や実施方法などの工事監督業務を経験する。

目標：立会目的、立会手順、写真の撮影方法等の習得。施工プロセスチェック方法の習得。対外交渉等の経験をする。

河川巡視：月1回程度の河川職員巡視に参加し、巡視方法の学習とともに重信川の河川特性を把握する。また、違法行為等への対応を現場で体験する。

目標：河川巡視実施要領の習得。堤防モニタリングの習得。違法行為の対応の習得。重信川の河川特性（環境、河道形状、不法投棄等）把握。

許認可関係：打合せや現場立会に参加し、河川法（24条、26条、55条、95条等）や境界確定等に関する許認可事務を習得する。

目標：河川法の習得。許認可事務の手続きを習得。審査基準や手法の習得。境界確定手続きなどを習得する。

2. 2 若手技術者研修の状況

(1) 工事関係

- ・ 施工体制チェック、プロセスチェック（重信川出張所にて）
- ・ 水替え試験、材料検査・状況把握（現場にて）
- ・ 仮設現地確認（現場にて）
- ・ 基礎工の床堀敷均し土工確認（現場にて）
- ・ 根継工の中詰め材投入状況、埋め戻し状況確認（現場にて）
- ・ 根継工などの不可視部分確認（現場にて）
- ・ 年未年始施工状況確認（重信川出張所にて）



写真－1 垣生再生護岸不可視部分

- ・根固め製作検査（現場にて）
 - ・かごマット材料検査、施工状況確認（現場にて）
 - ・根固め据え付け確認、覆土施工確認（現場にて）
- (2) 巡視関係
- ・河川巡視（重信川出張所にて）
- (3) 許認可関係
- ・松山市水道、工業用水許可申請（松山河川国道事務所）



写真－2 工事立会状況

2. 3 若手技術者研修の感想

今回の研修で一番良かったことは、すぐに現場を見ることが出来る点です。話を聞きながらこの地盤線はどこに当たるのか、問題となっている箇所周囲の状況は、など疑問に思ったことがすぐに自分の目を通して分かることです。また、工事の工程が図面や話だけでなく、実際に見ることができることが本当に勉強になります。現場には、先輩職員の方や業者さん、OBさんもいるため、留意すべきポイントなどを直接、文字ではなく体験として教えてくれます。

今回の研修で心に残っている事は、OBの方から昔の出水で重信川で局所洗掘が発生し、護岸の崩壊の話聞いたことです。重信川では局所洗掘防止のために護岸の根継ぎ工事を行っているのですが、その立会に参加した際に出水時の直角流により護岸が崩壊した話を聞きました。私が今まで漠然と見てきた重信川は水のあまり流れていない穏やかな川でした。話では急流河川で局所洗掘があり危険だと聞いていても実感としては、あまりありませんでした。しかし、削りとられた護岸、直角に曲がる水道の跡など教えられて、初めて気づき驚きました。

自分だけでは気づけないことが先輩方に教えてもらい自分の目で知ることが出来たことは本当に勉強になりました。

2. 4 おわりに

このような研修の機会を与えていただき本当にありがとうございました。現場に行っても足手まとい状態の私に現場とはどういうものか、これからの技術者とはどうあるべきかなど、技術力だけでなく様々なことを教えていただいた先輩方、本当にありがとうございました。



写真－3 護岸崩壊状況 (H9) 古川



写真－4 河川敷公園（巡視にて）